

藤 沢 市 剣 道 連 盟

Tou Ken Puu
第 6 号

藤 沢 市 剣 道 連 盟

千里の道も一歩から

藤沢市剣道連盟会長 幸 野 實

芭蕉の臨終に辞世の句を求めたところ「日頃よみ捨てた句は、すべて自分の辞世である。昨日の句は、今日への辞世であり今日の句は、明日への辞世である」とこたえられたそうです。

新しい年が始まりました。「千里の道も一歩から」という言葉がありますようにまずは、歩み出すこと、そして歩みを止めてしまわないこと。

その歩みの一歩一歩の中にこそ大きな意義があり、実践を怠らないことが大切であると教えているのではないのでしょうか。

「蒔かぬ種は生えぬ」という諺



があります、原因なくして結果はけつして出てきません。結果はかならず原因のなかにあり、原因はかならず結果のなかにうかがえるのです。

これを「因果一如」といい、結果を求めるまえに現在の原因の中に未来の結果が含まれていることを自覚することが大切ではないでしょうか。

「禪の高僧」(大森曹玄著)によれば、正受老人という人は「正念相続」を会得された人で「一大事と申すは今日只今の心也。それを疎かにして翌日ある事なし。遠き事を思い計る事があつても今を失うことに気づかず。今日一日暮らす時の勤めを励みつとむべし、如何ほどの苦しみも一日と思えば堪え易し」と今日只今に生きぬくことの大切さを教えています。

私もこの頃は、体力の低下にともない技の鍛錬とともに、心の鍛錬がいかに大切か感じるようになりました。

「剣道時代」(昭和60年発行)の「私の剣道修行」には、私の師でもある菊池傳先生の「観心証道」という記事が掲載されています。

先生は、立会いにおいて自分の心がどう動いたかを常に観察して反省し、その次には雑念を生じないように常に自分の気持ちの動きを見つめていることを「観心証道」と考え、心の鍛錬の拠りどころにしていると書いています。

さらに、五十半ばのころ持田先生に「今後の修行の目標はどんなところへ置いたらいいか」と伺いましたところ、しばらく考えておられました「やはり心だな」と言われたそうです。

体力が衰えれば気力も衰えるが心だけは変わらない。だからこの辺を目標にしていかなければならないと言われたそうです。

天気予報では、この冬一番の寒気が流れ込み、寒い一日になるとのこと、会員のみなさまにおかれましても呉々もお身体を大切になさいまし益々ご精進下さいませよう心から祈念いたします。

(平成26年1月)

20周年記念

・ 藤沢市剣道錬成大会

藤沢北ロータリークラブ優勝旗争奪戦

平成25年11月17日(日)

市立秋葉台文化体育館

今年で20回目を迎えた標記大会は秋冷の中、選手各位の熱気溢れる戦いで盛大な大会となりました。開会式では、ご臨席を頂いた藤



沢北ロータリークラブの各位を代表して、岡崎記久子会長より「剣道は技を磨くとともに心の修練の場でもあります。皆さんの凛々しい姿に接し、剣道が素晴らしいものであることを実感いたしました。ご健闘を心からお祈りします」とのお言葉を頂きました。ロータリークラブ優勝旗を手にした「互心会クラブA」チームの井上あすか選手は「みんなで楽しく稽古に励み、この優勝を来年につなげていきたい」と喜びを語ってくれました。



平成25年度 第20回 藤沢市剣道錬成大会の記録

学年別個人戦

	優 勝	準優勝	3 位	敢 闘 賞
小 学 1 年 生	福 住 咲 希(片)	小 林 緩 菜(御)	山 田 萌 衣(片) 井 上 翔 太(警)	
小 学 2 年 生	小 林 那 楓(御)	矢 口 康 大(片)	寺 田 勇 介(信) 中 野 孔 賀(警)	岡 野 着 大(御) 小松平 拓 海(御) 酒 井 大 青(片) 遠 山 絵(信)
小 学 3 年 生	小 澤 白 玖(片)	吉 田 朔 也(求)	加 藤 悠(互) 齋 藤 翼(遠)	四十井 陽 介(川) 赤 木 莊 太(警) 山 田 昂 太(長) 真 壁 誠 也(警)
小 学 4 年 生	板 倉 道 信(遠)	清 水 花 純(遠)	野 田 哲 平(川) 藤 原 直 輝(片)	藤 田 龍 心(求) 山 田 修 士(川) 矢 口 健 太(片) 秦 野 晃 一(遠)
小 学 5 年 生	藤 井 雅 人(遠)	轟 木 太 陽(川)	寺 田 健 斗(信) 星 野 敬 太(互)	久 野 伊 織(警) 小 坪 幸 之 介(片) 亀 井 拓 郎(御) 高 森 蘭 衣(青)
小 学 6 年 生	高 橋 優 毅(心)	福 井 雄 大(北)	酒 井 怜 奈(心) 千 田 彩 乃(互)	金 子 達 郎(求) 成 田 大 介(求) 藤 村 達 真(警) 赤 木 陽 太(警)
中 学 1 年 生	谷 口 柊 斗(御)	廣 江 風 馬(川)	西 田 拓 海(求) 花 片 颯 一(遠)	吉 田 天 鼓(求) 星 野 大 志(互) 小 田 右 近(警) 濱 田 竜 輔(互)
中 学 2 年 生	藤 間 瑛 雄(遠)	安 藤 源 太(片)	我 毛 大 輔(互) 井 手 翔 太(北)	紐 本 まどか(北) 清 水 禄(北) 一 戸 麟太郎(北) 高 橋 美 優(心)
中 学 3 年 生	大 平 見 央(警)	活 田 海(心)	佐 藤 亨(遠) 山 添 翔太郎(警)	大 村 陸(警) 紐 本 雅 人(北) 田 辺 都 亜(川) 山 田 哲 平(川)

藤沢北ロータリークラブ優勝旗争奪 団体戦 (少年少女の部)

カッコ内の数字は学年を示す

順位	団 体 名	先鋒 小4以下	次鋒 小5以下	中堅 小6以下	副将 中学生以下	大将 中学生以下
優勝	互心会剣道クラブA	古澤 公晟 (4)	星野 敬太 (5)	井上あすか (6)	我毛 大輔 (2)	井上 昇 (3)
準優勝	長 後 剣 道 協 会	山田 昂太 (3)	山田 陸 (5)	鈴木 茉央 (4)	鈴木 克海 (3)	増田 貴志 (3)
3 位	片 瀬 剣 友 会 A	福住 幸平 (4)	山口 陽高 (5)	友部 遼大 (5)	荻野 聡大 (2)	安藤 源太 (2)
3 位	藤沢警察少年剣道A	原岡 憲弘 (4)	久野 伊織 (5)	松田翔太郎 (6)	大村 陸 (3)	山添翔太郎 (3)



団体戦（男子・女子一般の部）

	順位	支 部 名	先 鋒	中 堅	大 将
一 般 女 子	優勝	長 右 衛 門	今 井 佑 紀	竹 下 空 美	藤 木 美 穂
一 般 男 子	優勝	長 右 衛 門 A	山 田 貴 大	柳 宏 和	櫻 井 利 蔵
	準優勝	長 右 衛 門 B	矢 野 裕 丈	関 口 太 久 実	田 辺 健 一
	3 位	三 菱 電 機 B	西 出 恭 平	伊 藤 聡 宏	寺 沢 茂 樹
	3 位	片 瀬 剣 友 会 F	菅 真 魚	山 上 泰 輝	岩 田 佑 介



さとりのお話

昔の剣術書の中に、こんな寓話ぐうわが出ています。

木こりが山でいつものように木を切っていると、珍しいげものが現われました。木こりは捕えようと思い、隙をうかがいました。

すると、おれは「さとり」だ。

「お前はおれを捕えようとしているな」木こりは驚きました。今度は油断させようと思い、知らぬ顔で木を切っていました。すると、「おれに油断させて隙を見て飛びかかるうと考えているな」。木こりは捕るのをあきらめ、一心不乱に木を切りつづけました。すると、「やっとあきらめたな、人間はいばっているが馬鹿な奴だ」木こりをからかいはじめました。その時斧の柄が折れ、斧が「さとり」の頭に当たり、その一撃で倒れました。木こりが無心になっていたのでも心がいよめなかったのです。剣道でもあれこれ考えては動きも遅くなり、相手に察知されてしまいます。

(修)

第68回藤沢市民総合体育大会

— 剣道競技の部 —

平成25年8月18日(日)

市立秋葉台文化体育館

今年の市民大会は猛暑にも拘らず、538名の選手が元気に参加して盛大に開催されました。

開会にあたり、幸野会長より、「暑さが続き熱中症も心配される場所ですが、平素の修練により習得した技と気力を十分発揮して、立派な試合が行われることを期待

します」と激励の言葉があり、選手を代表して、心剣会・高橋優毅選手が力強い宣誓を行って試合が開始されました。

各部門の成績結果は、以下の通りです。



平成25年度 第68回 藤沢市民剣道大会の記録

参加数		優 勝		準優勝		3 位	3 位
女 小 1 ・ 2	5	小 林 緩 葉 (御)	内 海 友 佐 (信)				
女 小 3 ・ 4	4	清 水 花 純 (遠)	大 村 咲 季 (警)				
女 小 5	10	高 森 繭 衣 (青)	羽 山 莉 乃 (遠)	大 沼 葉 寿 樹 (遠)	花 方 涼 香 (遠)		
女 小 6	7	井 上 あすか (互)	三 枝 由 紀 恵 (心)				
女 中 1	28	島 彩 都 沙 (秋)	吉 田 天 鼓 (求)	倉 持 汐 里 (片)	油 井 琴 子 (一)		
女 中 2	35	紐 本 まどか (六)	高 橋 瑠 々 子 (六)	高 橋 美 優 (藤)	沖 津 舞 (湘)		
女 中 3	6	田 辺 都 亜 (川)	渡 辺 紗 生 (川)				
女 高 1	12	米 盛 奈 々 (湘)	齋 藤 芽 稚 (西)	小 峰 あさみ (湘)	平 山 恵 理 (聖)		
女 高 2 ・ 3	18	草 津 沙 莉 奈 (湘)	近 藤 美 紗 希 (西)	長 津 苗 子 (西)	荒 井 加 菜 (西)		
女 一 般	11	竹 田 桜 子 (心)	小 林 礼 乃 (青)	高 橋 佳 奈 (心)	山 本 由 紀 恵 (青)		
男 小 1 ・ 2	18	小 林 那 槻 (御)	矢 口 康 大 (片)	本 間 治 輝 (片)	寺 田 勇 介 (信)		
男 小 3	10	小 澤 白 玖 (片)	増 田 龍 斗 (尚)	上 原 玄 徳 (高)	赤 木 莊 太 (警)		
男 小 4	34	藤 原 直 輝 (片)	涌 井 捷 亘 (湘)	板 倉 道 信 (遠)	山 室 翔 太 (片)		
男 小 5	36	藤 井 雅 人 (遠)	星 野 敬 太 (互)	堀 夕 介 (求)	杉 本 由 瑞 樹 (高)		
男 小 6	13	高 橋 優 毅 (心)	秋 本 竜 之 介 (川)	堀 江 勇 太 (高)	成 田 大 介 (求)		
男 中 1	73	西 田 拓 海 (洋)	花 方 颯 一 (遠)	廣 江 風 馬 (六)	山 口 陽 大 (片)		
男 中 2	61	井 手 翔 太 (六)	廣 吉 辰 朗 (藤)	古 田 健 人 (求)	我 毛 大 輔 (互)		
男 中 3	28	増 田 貴 志 (長)	大 平 晃 央 (鶴)	岩 本 遼 佑 (慶)	山 添 翔 太 郎 (鶴)		
男 高 1	43	中 田 峻 介 (湘)	朝 田 恵 介 (湘)	田 中 誠 (湘)	鈴 木 裕 太 (湘)		
男 高 2 ・ 3	30	成 田 康 平 (湘)	遠 藤 壮 流 (湘)	佐 藤 広 基 (湘)	矢 作 大 樹 (翔)		
男 一 般 初 以 下	16	小 泉 嘉 都 彦 (遠)	井 上 和 博 (高)	阿 部 博 文 (片)	酒 井 富 士 人 (片)		
男 一 般 2 ・ 3 段	35	増 田 伸 (三)	松 岡 祥 平 (川)	上 原 正 三 (滝)	大 綱 修 平 (慶)		
男 一 般 4 段	25	山 田 貴 大 (片)	野 田 周 吾 (川)	山 田 憲 良 (片)	福 田 光 彦 (市)		
男 一 般 5 ・ 6 ・ 7 段	30	菅 谷 和 彦 (市)	高 科 建 太 郎 (信)	白 水 俊 治 (遠)	矢 口 敏 一 (片)		

祝 昇 段

昇段おめでとう。

一に稽古、二に稽古……精進に終わりはありません。継続する意志力も大切ですね！

25年度前期 合格者

教士 森 静義 (遠藤)

五段 近藤 巧 (滝の沢)

四段 佐藤彩可 (片瀬) 長澤美穂子 (片瀬)

(塩根嗣理 (松下) 野田周吾 (川崎)

上野良揮 (慶応)

三段 木村 茂 (遠藤) 近内倫也 (遠藤)

根本岳久 (六中) 園田一樹 (日大藤沢)

成田康平 (湘工大) 戸根弘喜 (藤嶺)

菅 真魚 (片瀬) 新井雅人 (片瀬)

飯島一貴 (藤沢工科) 下口大河 (藤嶺)

米山圭祐 (湘南) 梶田侑希 (遠藤)

山口洸貴 (湘南学園) 加藤貴裕 (慶応)

奥野健太 (一般) 小林 修 (片瀬)

堀 遼一 (松下) ホレ・ウィラム (片瀬)

長澤杏優 (片瀬) 山崎望美 (川崎道場)

野口枝里 (遠藤) 高原かおり (遠藤)

二段 大村 陸 (藤沢警察) 岩本遼佑 (慶応)

初段

山田哲平 (川崎道場) 日吉 哲 (慶応)

吉岡 丈 (六中) 森川敬太 (六中)

紐本雅人 (六中) 秋山八雲 (湘南学園)

水野元太 (慶応) 川村佳輝 (信明館)

小栗彪史 (藤嶺) 齋藤健太 (藤嶺)

栗原湧多 (藤嶺) 鈴木 陸 (藤沢工科)

田中雅人 (日大藤沢) 池田 皓 (聖園)

山科隆典 (明中) 清水 峻 (川崎道場)

田辺都亜 (川崎道場) 長谷川綾香 (明中)

福島花奈 (藤ヶ岡) 金子芽衣 (藤ヶ岡)

鈴木美紗子 (藤ヶ岡) 井出紗都子 (六中)

石橋愛海 (六中) 中島優奈 (六中)

小黑夏子 (藤ヶ岡) 鈴木聖海 (六中)

喜田明日香 (六中) 岡 成美 (聖園)

野島咲希 (聖園) 清水 晴 (長後)

稲垣友紀子 (藤青) 和田 誠 (藤嶺)

野口瑠音 (湘南学園) 尾倉龍之輔 (村岡中)

廣吉辰朗 (心剣会) 安藤源太 (片瀬)

藤関勇大 (村岡中) 松本 翔 (藤ヶ岡)

清水 緑 (長後) 佐藤大志 (湘南学園)

一戸麟太郎 (六中) 馬嶋修平 (明中)

小山 陸 (片瀬) 岩井海人 (湘南学園)

熊倉翔太 (藤ヶ岡) 谷川尚輝 (明中)

川端 慶 (村岡中) 佐藤颯大 (六中)

木岡宏人 (村岡中) 荻原敏治 (六中)

若生瑛貴 (村岡中) 横山直樹 (慶応)

加藤雄太 (湘南学園) 松本 高 (藤ヶ岡)

大森友矢 (湘洋中) 岩本尚斗 (村岡中)

妹尾一卯 (藤ヶ岡) 杉田諒太 (秋葉台中)

五十嵐基樹 (鶴沼中) 福永裕吾 (慶応)

白井友哉 (鶴沼中) 豊田航輔 (日大藤沢)

和田浩太郎 (日大藤沢) 五十嵐敏高 (藤嶺)

中島雄野 (藤嶺) 平山 洸 (藤嶺)

市川 慧 (藤嶺) 小原俊明 (藤嶺)

市川将大 (藤嶺) 安部祐生 (藤嶺)

若林海人 (藤嶺) 加藤雅之 (藤嶺)

山道翔太 (藤嶺) 大越 航 (藤嶺)

福田弘平 (藤嶺) 米澤和真 (翔陵)

安田彬能 (藤沢工科) 渡部晃哉 (翔陵)

本郷七海 (藤沢工科) 諏訪涼介 (湘南台)

中井 瞭 (湘南台) 関根凌我 (信明館)

高田雄祐 (湘南高) 安田峻矢 (慶応)

板倉信元 (遠藤) 秦野晃司 (遠藤)

近藤舜斗 (村岡中) 倉持汐里 (片瀬)

倉内桃花 (六中) 小倉玲奈 (六中)

梅津あすか (六中) 山下ひかり (湘洋中)

田中菜穂 (湘洋中) 高橋美優 (藤ヶ岡)

溝口愛果 (藤ヶ岡) 紐本まどか (六中)

25年度後期 合格者

錬士 青柳章一 (慶応)

六段 宮崎博之 (遠藤)

五段 根来雅司 (一般) 有吉昌彦 (遠藤)

四段 山田裕之 (片瀬) 長澤應秀 (片瀬)

三段 菊永 侃 (遠藤) 真鳥延行 (藤嶺)

佐藤晶樹 (湘工大) 早川航太郎 (湘工大)

三井友美 (慶応) 若林伸悟 (藤嶺)

山口勝治 (片瀬) 近藤美紗希 (藤沢西)

二段 古根村隆文 (藤嶺) 穂坂拓海 (遠藤)

澁谷春輝 (湘南学園) 鈴木克海 (長後)

山内利峻 (遠藤) 井出風之介 (御所見)

矢野 暁 (片瀬) 倉本正樹 (湘工大)

片岡 諒 (湘南高) 伊東凌波 (湘南学園)

(次頁につづく)

祝 平成25年度 全日本剣道連盟少年剣道 教育奨励賞受賞

互心会剣道クラブが、平成25年度の栄誉ある賞を受賞、おめでとうございます。小学6年生、井上あすかさんに剣道への思いを綴って頂きました。

『剣道と私』

井 上 あすか

私は礼に始まり礼に終わる剣道が大好きです。試合や稽古での相手は敵ではなく、同じ道を歩む仲間。こんな心をもって剣道をやっているといくつかに気をつけています。

私が剣道を始めたのは幼稚園の頃からです。父と兄が互心会で剣道をしていたので、私も互心会に入りました。そして道着と袴、防具と少しずつ身につける物が多くなつていくのを、とてもうれしく感じていました。

初めて試合に出た時に負けた悔しさを知り、楽しくやっていた剣道に対して「強くなりたい!」と思うようになりました。

そして去年、藤沢市錬成大会で互心会は優勝することができました。いつも緊張している試合。でもこの時は、一つ勝っていくたびにみんなの優勝への気持ちがあ

どん高まり、結果、優勝することができました。あの時もらった優勝旗の重さとうれしさは、いつまでも忘れません。

勝った時のうれしさと負けた時の悔しさを沢山経験して今強く感じていること、それは「気持ち」のことです。例えば自分の悪い所を直そうと思ってみても、完全に直る前に練習を止めてしまい、また同じことを注意されてしまうこと、自分の心の中にある弱さが出てきてしまつて自分を甘くしてしまいます。そんな剣道で強くなろう、勝とうとばかり思っていた自分に気づき情けなさを感じました。

今までの自分の試合は勝った、負けたで終わってしまうか、負けた理由を考え、直そうとはするものの継続できずに終わってしまうのどちらかでした。これからは勝敗にこだわらず、でもそれ以上に試合の内容にこだわらず、自分の弱い所をちゃんと直していきたいです。

あと少しで中学生。もちろん強い人が多勢いて学ぶことも沢山あると思います。そんな中で強い心をもつ姿勢を大切に、そして自分と剣道を出会わせてくれた互心会に感謝の気持ちを忘れずに、これからも剣道をがんばっていききたいです。

初段

花方 颯一 (遠藤)	久保田 光輝 (滝剣友)
丸山 凌門 (鶴沼中)	守 良樹 (鶴沼中)
濱田 竜輔 (滝中)	金子 朝晴 (長後)
入 佐 宙 (鶴沼中)	星野 大志 (互心会)
廣江 風馬 (川崎道場)	小田 右近 (藤沢警察)
君嶋 竜弥 (村岡中)	杉 本 瑛 (湘南学園)
井手 翔太 (藤沢北)	立澤 一也 (滝中)
金森 一輔 (慶応)	三木 裕貴 (村岡中)
土岐 海人 (滝中)	市川 創太郎 (村岡中)
高橋 咲 (秋葉台中)	深 谷 礁 (滝中)
福島 葵里 (藤ヶ岡)	笠原 海統 (二 中)
木邑 将也 (村岡中)	活 田 海 (心剣会)

(前頁より)

居合合格者

25年度前期

草場 景 (泉鎌倉)	石井 康平 (藤 嶺)
池田 耕平 (泉鎌倉)	久保 翔太郎 (泉鎌倉)
仙石 恭敏 (啓心館)	福島 太郎 (啓心館)
宇田川 智則 (一 般)	松元 啓介 (互心会)
島 彩都沙 (遠藤)	内田 菜帆 (鶴沼中)
五百住 香葉 (村岡中)	重松 菜月 (湘南学園)
山口 彩葉 (村岡中)	神原 早紀 (村岡中)
八尋 優花 (村岡中)	石井 華鈴 (村岡中)
青木 里穂 (村岡中)	小松 香歩 (村岡中)
沼井 爽也香 (村岡中)	木賀 知香 (村岡中)
菊池 美里 (泉鎌倉)	松田 知佳子 (日本橋沢)
中井 優里 (日本橋沢)	鈴 木 恵 (遠藤)

25年度後期

五段 遠藤 浩	二段 糸 一男
五段 櫻井 利蔵	四段 田部 井 盛
三段 中山 久美子	初段 牛腸 義次



随 想



継続は力なり

藤沢市剣道連盟理事長 井手 勝 記

出身地は福岡県八女、お茶の産地である。以前はミカンも栽培され、今でも蜜がたくさん飛び交う風光明媚な所である。

小学4年生になると、男子児童は剣道を始めるという土地柄であった。私も何の躊躇もなく剣道を始めた。4年生の一年間は、廊下で足さばき、木刀での素振りの稽古のみ。防具を付けての稽古は5年生からで、技の稽古が主であった。稽古場は狭い講堂、木の短冊に書かれた剣道の技、校長先生の指導のもとに真剣に稽古していたことを覚えている。この時の基本稽古が今の基礎となっていると思う。

それから50年近く剣道を継続、これと言って戦績はないが、これだけ剣道を続けられた魅力はなんだろうか。それは剣道を通じて多くの人との出会いを持てたことである。一期一会を大切にして、お互いにこの瞬間に気力をつくし、稽古をいただく。さらには社会

生活における応答辞令も教わった。これから剣道の修行を通じ人間形成を成し遂げたいと素直に思えるからである。

私は平成元年、茅ヶ崎市堤に引越して来て、藤沢剣道連盟に加盟した。支部は遠藤である。時の師範は山本幸男先生、藤沢市剣道連盟の会長でもあった。山本先生は子どもたちに「継続は力なり」と常に説かれていた。周りを見渡すと、色々な継続は力なりの姿がある。一流選手で数々の戦績を残し大成した専門家。仕事が忙しく、ある期間剣道ができなかったが再開して教士七段を取得した会社員。子供と剣道を始め、すっかり剣道の魅力に取りつかれ、高段者となった先生。人それぞれである。共通するのは「継続は力なり」である。高齢者になっても幾周り離れた若者と稽古ができるのも剣道特有の継続は力なりの賜物ではないだろうか。柔軟で、謙虚で、秘めた

る気力を身につけた先生方と一緒に自然体のままで剣道を続けられることを喜びに思う。

支部だより
(第6回)

藤沢北ロータリークラブ優勝旗

長後剣道協会会長 諸 節 寛 行

長後剣道協会は創立62年目を迎えました。昭和50年代には100余名の会員が所属しており、大会も年2回開催していました。春季大会は、市内各支部及び近隣地の剣友会を招き、藤沢市少年剣道大会と称して行いました。この大会に、昭和61年度より、藤沢北ロータリークラブ様のご厚意で優勝旗が寄贈され、第1回争奪戦が行われました。

最後になりますが、藤沢市剣道連盟の一層の発展と会員皆様のご健勝を祈念します。

第20回を迎えた次第です。残念ながら、長後剣道協会としてチームを組めずに不参加が続きましたが、近年少年部が10名になり、久々にこの大会に参加することが出来ました。大将を欠きながら、他選手の活躍で決勝戦に進み、準優勝の成績を納めた子供達に拍手拍手です。

少年会員の減少は各支部共通の問題と思いますが、体育館いっぱい子供達が元気に稽古をしているのを見て、指導者一同頑張っています。一般の部は、市内各支部他、近隣剣連より剣友が集い充実した稽古会になっています。何時でも参加して交剣して下さい。

又、この優勝旗が寄贈されるにあたり、ご子息が川崎道場と長後剣協で稽古をしていた関係で、ご尽力下さいました(株)三留工務店社長(当時)三留義夫様に改めて感謝しています。

長後剣協AチームとBチームが決勝で戦うほどでしたが、以後少年会員が徐々に減少し、不本意ながら第5回大会にて終了することとなりました。再開出来るのを期しております。また、幸いにも平成6年に藤沢市剣道連盟で、第1回藤沢市少年少女剣道錬成大会を開催する事になりましたので、ロータリークラブ様と相談し、市剣道連盟に移管し、藤沢北ロータリークラブ優勝旗争奪戦を引き継いで行うこととなり、今年度

I N F O R M A T I O N

平成26年度 藤沢市剣道連盟・年間行事日程

平成26年 2月21日

月	日付	曜日	開始時間	大会・稽古会・講習会	会 場
4	5	土	15時から	稲門剣友会親睦稽古会・市高段者研究会	早稲田大学剣道場
	6	日	9時から	1級審査会	川崎道場
	6	日	14時から	市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
	27	日	13時から	市小学生強化練習会	秩父宮(全)
5	6	火・祝	13時から	市中学校受審者講習会・市剣連合同稽古会	秋葉台3F
	11	日	14時から	市剣連合同稽古会	川崎道場
	25	日	13時から	指導者研修会・市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
6	1	日	9時から	Aブロック2級以下審査会	六会中学校(予定)
	1	日	14時から	市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
	8	日	9時から	Bブロック2級以下審査会	川崎道場
	22	日	14時から	高段者研究会	秩父宮(半)
7	6	日	14時から	市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
	27	日	14時から	市剣連高段者研究会	川崎道場
8	3	日	13時から	小学生強化練習会・市剣連合同稽古会	秋葉台3F
	24	日	13時から	市剣連審判講習会・市剣連高段者研究会	秩父宮(半)
	31	日	9時から	藤沢市民総体剣道競技の部	秋葉台第1
9	6	土	14時から	県高齢者剣友会稽古会・市剣連高段者研究会	秋葉台2F(全)
	7	日	9時から	1級審査会	川崎道場
	14	日	14時から	市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
	28	日	13時から	小学生強化練習会	秋葉台3F

月	日付	曜日	開始時間	大会・稽古会・講習会	会 場
10	5	日	14時から	市剣連合同稽古会	秋葉台3F
	19	日	14時から	市剣連高段者研究会	秩父宮(半)
	26	日	13時から	市中学生&一般(三段以下)剣道形講習会	秩父宮(全)
11	2	日	13時から	小学生強化練習会・市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
	16	日	13時から	市剣連審判講習会・市剣連高段者研究会	川崎道場
	30	日	9時から	第21回藤沢市剣道錬成大会	秋葉台第1
12	7	日	8時半から	2級以下審査会(中学生)	六会中学校(予定)
	7	日	14時から	市剣連合同稽古会	秋葉台3F
	21	日	13時から	市剣連指導者研修会・市剣連高段者研究会	秋葉台3F
27年 1	3	土	10時から	新年稽古始	川崎道場
	11	日	14時から	市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
	25	日	10時から	市剣連高段者研究会	川崎道場
2	8	日	13時から	小学生強化練習会・市剣連合同稽古会	秋葉台3F
	22	日	14時から	市剣連高段者研究会	秩父宮(半)
3	8	日	13時から	市剣連剣道形講習会・市剣連合同稽古会	秋葉台2F(全)
	22	日	14時から	市剣連高段者研究会	秩父宮(全)

※秋葉台＝秋葉台文化体育館 秩父宮＝秩父宮記念体育館
(全)＝柔剣道場使用 (半)＝剣道場使用

(注)市小学生強化練習会：13:00～15:00 市剣連合同稽古会：15:00～17:00
10/26の市中学生形講習会は、中学生&一般三段以下を対象とする。

編 集 後 記

①新役員の紹介
平成25年6月30日、理事
会において役員改選を行
い、一部新役員が承認さ
れました。

会長 幸野 実
副会長(事務局次長) 諸節 寛行
副会長(市体育協会・評議員) 黒木 善健

★副会長 阿部 安行
★理事長 井手 勝記
★副理事長(企画・広報部長) 永島 修治

副理事長(県剣連理事) 廣吉 康成

常任理事(指導・教育顧問) 小磯 雄一
常任理事(会計・居合道事務局) 竹内 迪子

常任理事(指導教育部長) 朝長 忠雄

★常任理事(★大会審査部長) 宮治 洋介

常任理事(企画・広報副部長) 由井 一夫

常任理事(企画・広報副部長) 高科 建治

★常任理事(指導・教育副部長) 萩本 健吾

藤沢市剣道連盟会報 第6号

平成26年 3月15日 発行

発 行 藤沢市剣道連盟
神奈川県藤沢市高倉2300事務局
電話 0466-44-2001

印 刷 所 アミーデザイン

編集委員 永島修治 由井一夫 高科建治
小林一雄 竹内迪子 阿部剣朗
後藤真二 高科建太郎 石川信和

藤沢市体育協会 藤沢市剣道連盟

<http://www.fujisawa-taikyo.org/content/view/51/48>

常任理事(事務局次長) 遠藤 浩
理事(★大会審査副部長) 井出 猛
★理事 原名 正三
★監事 後藤 真二
★印は新任です。 石川 信和
②藤沢北ロータリークラブ優勝旗
争奪戦の第1回目は、辻堂駅北側
に位置していた元関東特殊製鋼株
式会社の体育館で開催。それ以前
は、諸節副会長の筆(支部だより)
の通りです。



大会係員打合せ（高校生）



市民大会開会式



試合会場作り（高校生）



木刀による基本技稽古法（藤沢）



木刀による稽古法講習会



審判法講習会



稲門親睦稽古会（秋葉台）



県大会、藤沢チーム（赤）



大將欠、準優勝（長後チーム）



北ロータリー旗授与（互心会Aチーム）



試合会場（基準）作り



会場準備



熱 戦



居合演武者



刀の扱い講習会



県大会 監督、選手